

(市街化区域への編入など)と組合設立認可・工事着手を想定している。

パートナーは▽事業実現の可能性に関すること(土地利用計画案・事業収支計画案の作成)▽法律による指定要件(文化財、農地、林地開発など)への対応に

行予定者を決定するまで応募者は、業務内容の履行が可能な単体の企業または複数の企業で構成するグループ。16年度以降、土地区画整理組合から委託を受け、土地区画整理事業の業務の全部または一部を行った実績を有すること。



公園へ民 拠点施設

松戸市は、21世紀の森と広場および京成松戸線常盤平駅周辺地域の公園への民間活力導入に向け、サウナ、ディンク調査を実施する。公園の活性化に貢献する拠点施設や、駅からのアクセス

向上を図る新ゲート(備など)について、民間者から提案を募る。事業実現可能性や課題、条件などを把握し、今、事業化、公募を検討する。21世紀の森と広場で、来園者増加と魅力向上のため、拠点施設の新検討している。整備には公募設置管理制度(ark-PFI)をとし、事業期間に20年を

千葉県コンクリート製品
協同組合(寺田裕之理事



「リスクを恐れて禁止するより、ルールを整えて活用」。この日のワークでつく

県コンクリート製品協組 第3回実践コンプラ

セキュリティとAI学ぶ

中小企業診断士で社会保険
労務士の笠井講師



長)は9月17日、千葉市内の千葉中央駅前ビルの組合会議室において、組合員を対象とする「第3回実践コンプライアンスセミナー」を開き、8人が聴講した。7月から月1回のペースで10月まで、全4回のセミナーをシリーズで行っている。講師は、笠井中小企業診断士社会保険労務士事務所

の笠井郁央氏が務めた。第3回目は「情報セキュリティ・デジタル時代の製造現場」がテーマ。「便利なデジタルが経営リスクになる時代」として、「知らな

い、デジタル化の恩恵とリスクを正しく理解する」を目的に、①生成AIは「入力禁止情報」を決めるだけでリスクが激減する②営業秘密・個人情報情報は「管理していないと守られない」③サイバー攻撃の7割は中小企業。基本対策で大きく変わる④正しく使えばAIは強力な武器になるーなどに焦点を当てた。

デジタル化の恩恵 リスク正しく理解

企業活動が社会に与える影響の大きさから、企業には近年、法令順守のみでなく「誠実さ」「透明性」「説明責任」のコンプライアンスが求められている。このため同組合では、企業価値の向上やリスク低減を図ることを目標に、千葉県中小企業団体中央会の協力を得て、コンプライアンスに関するセミナーを開く。

スに関するセミナーを企画。全4回のシリーズを通じて、コンプライアンス対応を「守り」ではなく「経営の基盤」にすることを全体の目的とした。

この日のセミナーの主な内容は、▽情報セキュリティとコンプライアンスの関係▽デジタル化は製造業に何をもたらしたか▽デジタルリスクが経営を直撃した事例(コンクリート業界の実例)▽生成AIへの個人情報入力▽生成AIのリスクを正確に理解する(無料版と企業向けの違い)▽生成AIの企業版の料金の目安▽「シャドーAI」とは何か(見えないAI利用が招くリスク)▽AI活用と情報漏洩(何を守れば安全に使えるか)▽現実的な使い方▽今すぐできる生成AI対応(5つのアクション)▽営業秘密・個人情報

【第3回実践コンプライアンスセミナー聴講者】
▽寺田裕之(株)テラコン
▽寺田玲寛(同)
▽花澤耕一(株)花澤工業所
▽岩澤道子(三洋コンクリート工業(株))
▽小川晶子(同)
▽林謙二(株)林建材
▽石橋章友(千葉鋳業(株))
▽太田大介(千葉県コンクリート製品協同組合)

の漏洩リスクと対策▽情報セキュリティ対策の基本(今すぐできるアクションプラン)ーなど。

これに加えて、ワークとして「情報セキュリティ簡易チェックシート」で危ないポイントを洗い出し、自社で取り組む優先度の高いものを「アクションプラン」として書き出すことで、「誰が、いつまでに」までを決めて、実行に繋げるかたちを模索した。

【第3回実践コンプライアンスセミナー聴講者】
▽寺田裕之(株)テラコン
▽寺田玲寛(同)
▽花澤耕一(株)花澤工業所
▽岩澤道子(三洋コンクリート工業(株))
▽小川晶子(同)
▽林謙二(株)林建材
▽石橋章友(千葉鋳業(株))
▽太田大介(千葉県コンクリート製品協同組合)

新ゲートは、広場東設ける方針で、設計施括のデザインビルド方式で決定する。駐車場の有る具体的な整備内容は、査の中で検討する。

駅周辺の公園では、二丁にに応じた施設整備についてPFIの活用を想定している。また、紀の森と広場や周辺公維持管理・運営への指

理者制度導入も検討。公園の組み合わせや一な管理運営の可能性について、民間事業者の意見。指定管理期間は4年想定し、提案を受けて化する。調査対象は、事業主